

# こんにちは 山田耕平 です

2015.2.19 No.184

このニュースへのご感想  
ご意見をお寄せください!

杉並区善福寺2-2-11

TEL 090-9973-0941

ホームページ

http://yamadakohei.jp

## 今議員任期最終の議会

# 保育待機児童解消に向けて一般質問

## 待機児童の深刻な実態を告発 少子化に歯止めをかけるために

二月十六日(月)区議会第一回定例会で一般質問しました。区政を取り巻く大問題の一つとなっている保育待機児童問題の解消に向けて、認可保育園のさらなる増設を求めました。



質問の傍聴には赤ちゃんを連れた保護者も駆け付けてくれました。

今年四月、保育園に入園出来ない待機児童保護者は職場復帰が出来ないために、仕事を辞めざるを得ない等の深刻な状況に置かれます。保護者への聞き取り調査により明らかになった実態(詳細裏面)を議会で告発し、保育定員増等の緊急対策を求めました。

## 認可保育園のさらなる増設を

日本社会の大きな問題となっている少子化に歯止めをかけるためには、若い世代が働きながら子どもを育てられる環境を整備することが必要です。そのためには認可保育園を抜本的に整備することが重要です。

杉並区は来年度予算案を「少子高齢社会」へのチャレンジ予算」と名付けました。予算案に認可保育園増設などが示されている点は評価できますが、待機児童が発生している現状を直

## 質問への答弁(一部抜粋)

- Q1 待機児童保護者の切実な実態を区はどのように認識しているのか?  
A1 答弁せず(再質問においても答弁せず)
- Q2 保育需要予測の今後の動向は?今年4月の待機児童予測(杉並区定義による)は?  
A2 保育需要は増加傾向、女性の就業率の高まりを背景に、当分、続くと予測。待機児童ゼロ実現に手が届くところにいると認識。
- Q3 今後の保育定員増は認可外保育施設ではなく、認可保育所で図るべきでは?  
A3 保護者のニーズの高い認可保育所を核とした整備を進める。

ちに解消することが求められます。

## 安心して子どもを産み 育てられる杉並区へ

今議会では今後、予算特別委員会が開かれ、来年度予算案の集中審議が行なわれます。子どもからお年寄りまで安心して暮らせる区政を目指して全力を尽くします。

## 傍聴にお越し頂き ありがとうございました!

大勢のみなさんに傍聴にお越し頂きまして、ありがとうございました。他の質問者との関係で私の質問時間が早まり、ご迷惑をおかけして申し訳ありませんでした。

みなさんの傍聴により、行政との緊張感のある質疑を行なうことができました。

一般質問の録画映像は杉並区議会ホームページに掲載されます。

一般質問の実態調査で明らかに…

# 待機児童保護者の深刻な実態とは？

## 認可外保育施設は100名待ち… 学生が復帰を待っている

都内の学校に常勤で勤める傍ら、自営業を営んでいます。

学生に実務経験を積ませるために、二つの仕事を兼務しています。直ちに職場に戻る必要があり、現在は、ベビーシッターに育児をお願いしながら、職場復帰をしています。しかし、ベビーシッターの費用が極めて高額で、このまま続けることは出来ません。

認証などの認可外保育施設も申し込んでいますが、出産に際し、体調が優れなかったこともあり、保活に出遅れてしまいました。10月に各園に問い合わせたところ、全ての園から100人待ちなので受付出来ないと断られました。このまま入園出来ないと学校に復帰出来ず、スタッフを抱える事務所も続けていくことが困難になります。

## 父親はリストラで派遣社員 共働きでないと家計が回らない

昨年、子どもが生まれた直後に父親が正社員の職を失いました。職場が不景気でリストラを行なったためです。現在、父親は派遣社員として働いている状況です。

競争率が高い居住地域・JR沿線の保育園は最初から候補から外さなければなりません。何とか保育園に入るために、苦労を覚悟で、自宅からも駅からも遠い保育園を志望しました。

今年四月の入園にかけていましたが、結果は不承諾。不承諾の通知が来てから毎日悩み、それでも解決策が見つからず、不安に押しつぶされそうな日々を過ごしています。

子どもが保育園に入園出来なかった場合には、夫に退職してもらい、母親が働くことを考えています。しかし、共働きを前提として、子どもを産んだため、どちらか片方が働けない場合には、家庭の収入が赤字となります。

もはや子どもを保育園に入れることを諦めて、どうすれば借金をせずに生活できるかを考える段階に来ています。

一般質問で取り上げた保育待機児童保護者の深刻な実態の一部を紹介いたします。

## 保育園に入れるために泣く泣く0歳から入園申請

昨年10月末に子どもが生まれ、保育園入園のために入園申請を前倒しました。出産直後が丁度、認可保育園の申し込みの開始期間だったために、妊娠中から保活をしてきました。妊娠中にいろいろ調べていくうちに、0歳児でないと認可保育園に入ることはかなり難しい、1歳児になると加点（兄弟が他の園に在園している場合や認可外保育施設に入園している場合等の調整指数）されている状態でないとは入れないということを知りました。本当なら1歳くらいまでは、側にいてあげたいと思っていたのですが、泣く泣く、5カ月で保育園に入れる決意をしました。しかし、先日届いた結果は入園不承諾。0歳児でも入れないとは思っても見なかったです。

## 育メン日誌

### インフルエンザに打ち勝った！

息子がインフルエンザA型に罹り、戦々恐々としていましたが、私も妻も娘も無事、乗り越えることができました。一般質問も終わり、ホッとしています。激しい予算議会の真っ最中ですが、まずは一つの山を越えました。それにしても、議員という仕事はまさに体力勝負…。ちなみに、この原稿を書いている時間は午前3時…（苦笑）。

日中は時間が無いので、必然的に仕事をこなすのは深夜です。体力の過信は禁物ですが、頑丈な身体で本当に良かったと思います。

先日、区長が本会議答弁中に倒れるという



娘に感染しなくて良かったです。

ハプニングが発生し、健康管理の重要性を痛感しています。

日々の生活に気を付けながら、頑張ります。

## ～4年間で振り返って～① 小倉順子さんからバトンタッチ

区議会議員一期目を間もなく終了します。この4年間の活動を振り返ります。

4年前、2011年4月に行なわれた区議会議員選挙で小倉順子さんの後を受けて立候補しました。

小倉さんの息子さんが中学校（井草中）のサッカー部の先輩でもあり、地元の繋がりも活かして活動を開始しました。立候補決定がギリギリとなり、大変な選挙戦でしたが、地域のみなさんの大きなご支援を受けて杉並区議会に初当選しました。

小倉順子さんはその後、国立に引っ越されましたが、今も様々な機会に杉並に駆け付け、お手伝いをして頂いています。

区議選では同じく30代の議員が2名当選し、30代議員が4名もいるという日本有数の若い議員団となりました。



小倉さんは看護師として福祉分野に強い議員でしたが私も同じく福祉分野で議会論戦をリードしています。